

人事異動(2月1日付け)

人事異動があり、2月2日、本店関係者(植木係長 下郡係長)には組合長から辞令が交付された。
異動された皆さん、また気持ちも新たに頑張ってください。以下、異動者の一覧



新	旧	氏名
(本店) 総務部経営管理課係長	(本店) 総務部経営管理課主任	植木千絵
(本店) 経済事業販売課係長	(本店) 経済事業販売課主任	瀬口正人
(本店) 経済事業購買課係長	(本店) 経済事業購買課主任	下郡祥平
(中津支店) 総務・共済係長	(中津支店) 総務・共済主任	村井愛実
(佐賀関支店) 販売課主任	(佐賀関支店) 販売課	水野清一郎
(津久見支店) 業務課販売主任	(津久見支店) 業務課販売	池田晃基
(鶴見支店) 販売課主任	(鶴見支店) 販売課	市樂 航
(米水津支店) 信用担当主任	(米水津支店) 為替担当	松下有里
(米水津支店) 指導課主任	(米水津支店) 指導課	小畑憲彦
(下入津支店) 業務課長	(下入津支店) 業務係長	中濱勇樹
(蒲江地区統合支店) 販売課主任	(蒲江地区統合支店) 販売課	松本光矢
(本店) 退職(令和7年12月30日付)	(本店) 購買課	小野正照

台湾プロモーション 開催

1月12日、台湾プロモーションが台北市であり、漁協から永井参事、おさかなランド明野店の薬師寺店長が、主催者である県からは尾野副知事をはじめ漁業管理課の大竹主査、ブランド推進課の三代主査等が参加した。
会場のホテルオークラ台北では、大入島オイスター(冷凍)と養殖ブリ(生鮮)などを使った料理が並んだ。永井参事からそれらのPRを行ったのち、薬師寺店長による6.5Kgのブリの解体ショーがあり、終了後は順番待ちをする行列ができるほどブリの刺身の人気は高く、盛況であった。今後の販路拡大が期待される。
翌12日には、水産関係者で現地の一般的スーパーや高級スーパー、日系スーパーを視察し、帰路に就いた。



JF大分

水産おおいた

2026年
3月

187号

発行元
大分県漁協

<http://www.if-oita.or.jp/>



みさ達 に施概とり一案明進事りで信備保活りも本れ3 2 9い7補れ現2た2營
をん成3つし要題巻大でさし項の活頼、険動、詳所、か号6て0償、在0。9委本年
おのに月いて、しく分はれてな4力性共推の適しの今年議%は%額チの2第日員年
願一向末てい県、現県、たいどつあの済進実切い山回計案と目、目ヨ実51に会度
し層けま説るや本状の大くのにの確の体施、保明参席がは、補らのが1議催、2
の役で明各漁県と漁屋第三つ重漁保健制、保明参席がは、補らのが1議催、2
ま取職のし種漁漁課業か3とい点村、全の共障が事さ報、た償しは報2案さ1回
すり員目た施が業題をら号がて取づ元性整済提あかれ告次、額に 推告月でれ月
。組皆標 策実の「取 議説推組く気・ ・案 らたさ期第のつ 進さ末は 運

大分県JF共
済推進本部
運営委員会

磯焼け対策全国協議会

1月30日、東京大学において令和7年度磯焼け対策全国協議会があった。

今回、各地からの報告では、本県からは津久見支店の藻場保全の取り組みについて、出席がかなわなかった後藤支店長に代わり、県中部振興局水産班の中尾拓貴主査が発表した。

津久見を含む豊後水道では藻場が減少傾向にあり、ブダイ等が関与していることが示唆されたため、漁獲されたブダイを支店が買い取り、肥料や魚粉に加工するとともに、海洋科学高校がみそ煮にした缶詰を製造、アイゴについては加工会社がジャーキーにするなど消費につなげる取り組みを行っていることを発表した。

発表後は、買取価格や補助金の有無などの質問があり、参加者の関心の高さがうかがえた。なお、この取り組みは、すでに浜プラン農林中央金庫理事長賞、豊かな海づくり大会農林水産大臣賞を受賞している。



で急事 がす目な入査て検査1評の
あな項昨出べにど・員の査と0が常2
る改も年さきつ計脱かも結1月あ例月
。善あ度れとい1退らの果月のつ検4
がりとたのて9手組でを後現た。査日
必、同、意是の統合、受半物、の
要早じ 見正項き加検けの検 講県

常例検査
講評

第8回理事会を開催

2月4日、第8回の理事会が開催され、以下の議案について、提案があり、審議の結果、可決された。

【議案】

- ・第1号議案 組合員の異動について
→計15名の組合員の異動(新規加入、資格変更等)について承認された。
- ・第2号議案 「マネロン等への対応に関する規則」及び「反社会的勢力等への対応に関する規則」の一部改正について
→システムの名称変更、マネロン等担当者の定義変更に伴う規則の一部を改正することについて承認された。
- ・第3号議案 補助事業による固定資産の取得について
→佐賀関火災を受けて、県の沿岸漁業振興特別対策事業(県、市各1/3補助)を活用し、漁具製造再開に係る漁協倉庫を改築することについて承認された。
- ・第4号議案 地区漁業運営委員の欠員に伴う対応について
→名護屋地区の運営委員から辞任届け出が出され、補欠選挙を実施しないことについて承認された。
- ・第5号議案 卸売市場法の一部改正に伴う魚市場業務規程の改定について
→法律の改正により、市場で取り扱う指定飲食料品等及びその費用等を公表するため、業務規程を一部改定するとともに、R8年4月1日までに知事あて既定の変更承認を行うことについて承認された。

【協議報告事項】については、以下の報告があった。

- ① 余裕金の運用状況報告について
- ② その他
 - ・佐賀関火災に対する義援金:(一次募集)1,400万円余(二次募集)440万円余
 - ・定年退職、役職定年等の検討
 - ・R8の通常総会の会場:コンパルホール

新規就業者の確保に向けて

～各地で就業フェアが開催～

1 おんせん県おおいた就農・就業応援フェア

1月31日、ホルトホールにて。
農業関係を中心に23のブースが出展し、80名余りが来場した。漁協は漁業総合相談として出展。漁協と県の担当者が出席、相談には4名が来場し、それぞれ短期研修などについて説明した。



2 漁業就業支援フェア2026冬(東京会場)

2月11日、東京の都立産業貿易センターにて。
延べ15人ほどが来場し、本店、佐賀関連店などのブースで短期研修などについて説明した。



なお、2/7には大阪でも開催され、10名ほどが来場した。



を場ん部3藤日さ部位たりし4職 さグ催例に夕日、
深をそ の位公出んのは。広、1員青れ大ののおわ、2
め移の 声は一支、佐米結げ熱名な年た。会ボ青い1大月
たし後、 川鶴さ部2藤水果ら戦がど部。がウ年てボ分1
。懇、 仁見んの位智津、れが参計員 開り部、ウ市4
親会 さ支、佐は八支1 線加 や 催ン主恒ルの

ウ青年部
大会
グボ

令和8年度当初予算の要求の概要

県は、令和8年度一般会計当初予算案を公表した。
総額は7,300億円余で、前年度当初予算額に比べ、273億8,100万円(3.9%)の増と過去最高の予算額となった。物価高騰対策を拡充し、令和6年度に策定した長期総合計画の実現を加速させるため、防災対策の高度化などを予算化した。
農林水産部の要求については約605億円で、7年度当初予算(約578億円)に比べ4.7%の増、うち公共事業は306億円で、昨年度よりも約29億円(10.4%)の増加となっている。予算案は2月24日に開会した第1回定例県議会で提案された。

農林水産部 令和8年度 一般会計当初予算案のうち水産関係の主な事業

(単位:千円)

事業名	8年度当初予算案	7年度当初予算額	事業概要	所管課
佐賀関大規模火災関連事業	45,740	0	被災者の日常生活を早期に取り戻すため、国・市・関係機関と連携しコミュニティの維持や復興・まちづくりに取り組む。 ※7年度既決予算による対応額約6,000万円 (被災した漁具供給施設の復旧支援など)	
漁業集落環境整備事業	42,740	0	大分市が行う被災地の防災道路等の整備に対し助成する。 ・防災道路等の測量、設計、調査に要する経費への助成 補助率13/20(国1/2県3/20)	漁港漁村整備課
海づくり大会を契機とした水産物消費拡大事業(一部)	3,000	0	被災した佐賀関の復興を支援するため、佐賀関水産物のフェアを実施する。 ・量販店フェア 九州3回 関東1回 ・飲食店フェア 関東1回	漁業管理課
【特】陸上養殖業生産安定対策事業	19,401	0	陸上養殖業における高水温化等に対応した安定生産体制を構築するため、養殖環境の改善を支援するとともに、防疫体制の強化に取り組む。 ・海水温上昇に伴う貧酸素化に対応する酸素発生器導入への助成 補助率2/3(県1/3市1/3) 限度額600万円など	水産振興課
【特】基幹魚種資源造成促進事業	83,027	0	ニーズの高い基幹魚種の水産資源を増大させるため、海域特性を踏まえた集中的な種苗放流等を実施する。 ・海底耕うん等環境整備を行った放流適地での集中的な種苗放流 対象魚種4魚種(クルマエビ、マコガレイ、マダイ、イサキ)など	水産振興課
【特】環境変化対応型栽培漁業推進事業	40,267	0	高水温化等の環境変化に対応した効果的な資源造成を行うため、新たな手法を用いた種苗放流を推進するとともに、暖水性魚種キンハタの種苗生産体制の確立に取り組む。	水産振興課
海づくり大会を契機とした水産物消費拡大事業	31,413	38,500	全国豊かな海づくり大会を契機とした県産水産物の消費拡大を図るため、県民の水産業への関心の高まりを次世代へ継承する取組を実施するとともに、新たな販路開拓に向けた取組等を支援する。 ・森・川・海のつながりを学ぶ小学生向け体験型学習の拡充(2回→4回) 【特】佐賀関水産業を応援する量販店・飲食店フェア等の開催(5回)など	漁業管理課
漁業取締船代船建造事業	568,321	432,330	漁業秩序の維持と漁業関係法令違反の抑止を図るため、漁業取締船「あさかぜ」の代船建造を行う。	漁業管理課
The・おおいたブランド流通販売戦略推進事業	45,670	40,791	県産農林水産物の販売を促進するため、マーケットニーズに対応した販路開拓や、大阪・関西万博等のつながりを活かした県産食材の認知度向上に取り組む。 ・大阪駅周辺飲食店での県産食材メニューフェアの開催 【特】県内宿泊施設のシェフ等を対象とした食材産地ツアーの実施 【特】るるパークなど県内集客施設の来場者向け県産食材のPRなど	おおいたブランド推進課
農林水産物輸出需要開拓事業	60,000	60,000	海外の市場を取り込み農林水産業者の所得向上を図るため、ブランドおおいた輸出促進協議会等が行う輸出拡大の取組を支援する。 ・「おおいた和牛」のEUでの飲食店関係者向け試食会の開催 【新】販路開拓・取組拡大に向けたASEAN地域での展示会への出展等	おおいたブランド推進課



い開い確一が平月い いべいき大た日も ぶこたに分
〜花て実番高年のるそ感るな雪。中上もりと。雪市2
大がいにがくよ中ううじとと影で北家がちくだ3がで月
。待る春吹なり旬ちこで申こ響生海でらるがc積久8
。ち、がいりもかにうあしるが活道過ずん1もし日
遠桜近た、気ら、しる訳と出になご、気か0とぶ
しのづ。春温は2て。な比て大どし一温?年の り大

後編
記集